

# コンテンツ流通促進作業部会 2021年度活動中間報告

主査：高橋菜奈子

## 戦略2

オープンアクセスを推進する学術情報流通の基盤を整備し、コンテンツの流通、活用を促進する。

- 2.1 コンテンツ収集の方策を検討し、リポジトリを活用した学術情報のオープン化に寄与する活動を促進する。
- 2.2 著作権等のポリシーに関する動向を確認し、学協会等への適切な働き掛けを行う。
- 2.3 多様なコンテンツの流通を支えるメタデータスキーマである JPCOAR スキーマの普及に努め、国際的な相互運用性を確保するために適切な維持管理を行う。
- 2.4 外部データとの連携を支える永続的識別子の活用を促進する。
- 2.5 コンテンツの再利用を可能とするため、著作権者等によるライセンスの付与を促進する。
- 2.6 国立情報学研究所と連携・協力し、JAIRO Cloudの機能改善と安定的、持続的な運営を行う。



ワークフローチーム

(前田、河合、尾城、藤田、三木、林(正))



SCPJチーム

(松村、藤田、菅原)



メタデータチーム

(片岡、瀬川、林(豊)、末田、増山)



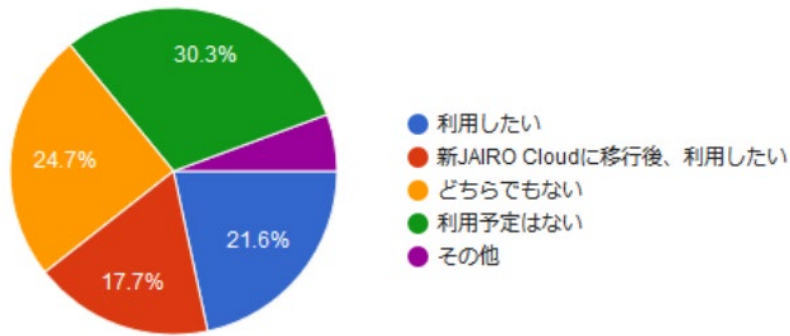
DOIチーム

(菅原、三木、室井、増山)



JAIROCloud移行タスクフォースへ

## ワークフローチーム



- 「次期JAIRO Cloudコンテンツ登録アシスト機能にかかる事前アンケート」を実施(2021年5月25日～6月10日)

– 回答数:231件

– 約40%が利用希望

– 2021年7月8日(木)NII オープンフォーラム 「次世代機関リポジトリの機能」河合将志

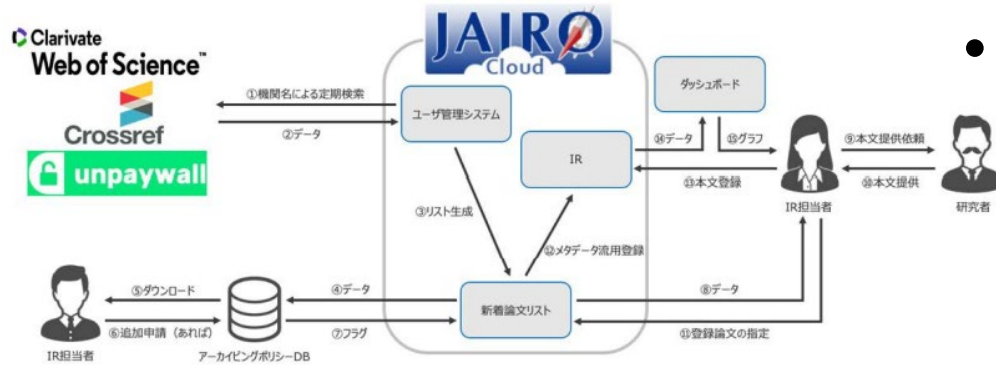


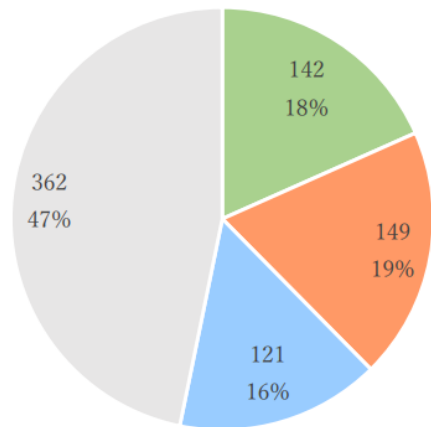
図1 コンテンツ登録アシスト機能のイメージ

- コンテンツ登録アシスト機能 第3段階実証実験 実施予定

– 参加機関: 横浜国立大学、新潟大学、信州大学、福井大学、熊本大学

– 期間: 2021年11月29日～12月17日

## SCPJチーム



- OA 化が進んだジャーナル
- OA から遠ざかったジャーナル
- Gray・White 間で変更になったジャーナル
- +■+■ ポリシーに変更のあったジャーナル
- ポリシーに変更のなかったジャーナル
- +■+■+■ (=■) 回答があったジャーナル

この10年でOA化が進んだジャーナル142誌

- 「SCPJデータメンテナンス結果報告書」の公開(2021年10月22日)
  - <https://doi.org/10.34477/0002000077>
  - 作業対象:2,635学協会のうち、更新日が古いものから2,034学協会(2,516誌)
  - 評価:最新情報を反映ができた
    - 回答中約半数はポリシーの変更有
    - OA化が進んだジャーナルは142誌
  - 課題:OAから遠ざかったジャーナル149誌
    - ポリシーカラーのわかりにくさ
    - SCPJの認知度の低さ
- 今後の予定
  - ウェブサイト・データベースの英語化
  - ライセンスの検討

# メタデータチーム

The screenshot shows the 'JPCOARスキーマガイドライン' (JPCOAR Schema Guidelines) website. The main content area is titled 'ID登録' (ID Registration). It includes sections for '要素名' (Element Name) with a text input field containing 'jpcoar.identifierRegistration', '属性' (Attributes) with a dropdown menu showing 'identifierType', and '説明' (Description) with a list of bullet points. A '注意' (Note) section is also visible.

- DataCite DOIの登録開始に伴うDOI管理メタデータ入力ガイドラインの改訂(6月1日)
  - JPCOARスキーマ編: <https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/records/160>
  - junii2編: <https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/records/215>
- 「JPCOARスキーマのデジタルアーカイブ対応方針」を  
発表予定
  - 国立国会図書館の「メタデータ作成者向けのガイドライン」の策定に協力
  - これからの学術情報システム構築検討委員会システムワークフロー検討部会との情報交換会
  - 「これからの学術情報システムのメタデータ収集・作成方針案」との意識あわせ
- 月刊JPCOAR第6回(3月頃)「デジタルアーカイブとメタデータ流通」報告予定

## DOIチーム

JPCOAR  
オープンアクセスリポジトリ推進協会



### DOI を入力しよう!

DOI (Digital Object Identifier) は論文等の学術コンテンツに付与される国際的な識別子です。

**メリット**

発見可能性  
の増大

永続的なURLを付与できるため、コンテンツのアクセシビリティが向上

引用・リンク、検索、コンテンツの同定など利活用の可能性が向上

論文の引用数増大やリポジトリのアクセス数増大につながる!

**DOIの付与**

紀要論文や博士論文など自機関が発行したコンテンツを中心に、積極的にDOIを付与しましょう。JALC DOIはIRDBにデータ提供を行っている機関であれば、NIIが取り纏めるJALC準会員となつたうえで、**無料**で登録ができます<sup>\*1)</sup>。

**他所で付与されたDOIの入力**

学会や出版社が発行する学術雑誌論文を自機関の機関リポジトリに登録する際は、メタデータに出版者のDOIを入力しましょう<sup>\*2)</sup>。出版者のDOIを入力し、出版者と紐付けを行うことは、コンテンツの同定と発見可能性を大きく向上させます。Google Scholarなどの学術情報プラットフォームや、UnpaywallなどOA版の論文を発見するツール等が出版者版との紐付けを行う際にも重要となります。

\*1) JALC準会員の参加申請は下記サイトをご参照ください。  
国立情報学研究所が取り纏めるJALC準会員 (<https://support.libnii.ac.jp/ja/registration/jalco>)  
\*2) 入力方法は、IRDBがデータ提供機関のためのDOI登録・メタデータ入力ガイドライン)をご参照ください。  
JALC準会 (<https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/records/213>) / JPCOARメンバー (<https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/records/160>)

JPCOARコンテンツ流通促進作業部会 DOIチーム

- JPCOARへの加入有無とDOI付与状況について調査(9月～)
- IRDB調査結果に基づくCrossRef DOIリストを各機関に配布(11月)
  - 対象機関:193機関
- DOI登録の先行事例ヒアリング調査
  - 準備中
- 月刊JPCOAR第4回(1月頃)で「国内識別子普及状況」報告予定